



民泊の生徒と喜びの再会

大阪府高石市の生徒の家族が4月2日、今福町の福浦長生さん（今福・寺上、76）宅に民泊のお礼に訪れました。

訪れたのは、平成20年6月に本市に体験型旅行で民泊した生徒とその祖父、母、妹の4人。生徒は、福浦さん宅での民泊や海での体験を通して、人との触れ合いや自然の厳しさなどを経験しました。今回、家族旅行の際に、福浦さん家族にぜひもう一度会いたいと再会が実現したものです。生徒と家族は、市内観光をしたり、一緒に食事をしたりして福浦さんの家族と交流し、翌朝帰っていきました。

福浦さんは「生徒が玄関からただいまと入ってくると、都会に出ている孫が帰ってきたようでとてもうれしく、民泊の受け入れをして良かったと感じました。民泊受け入れを通して自分たちも勉強することができ、若いパワーをもらえるので、また次の生徒たちが来るのが楽しみです。この地域にもっと受け入れ先が増えてくれるといいですね」と話していました。

今年度の受け入れは4月23日から始まり、今年度中に約2万人の受け入れを見込んでいます。

不老の森に感謝状

志佐町内でイノシシの加工、販売などを行う「不老の森」（岩崎正吉代表）に3月27日、市から感謝状が贈られました。

市では農作物被害を減らすため猟友会にイノシシ駆除を依頼しています。同会では捕獲したイノシシの有効利用のため、会員3人の有志により平成18年に「不老の森組合」を発足。持ち込まれたイノシシを精肉したり、ウインナー・ソーセージなどに加工したりして、道の駅松浦海のふるさと館や吉井町の農産物直売所ソレイユで販売しています。

友広市長は「イノシシ肉の有効利用は、市が取り組む地産地消推進の一つでもあり、新しい特産品の開発にも役立っています。この活動によって有害駆除したイノシシの処分などもスムーズに行えています」と話しました。



まちの話題



写真を市に寄贈

江迎町の江口徳郎さんが4月2日、市内の風景の写真3点を市に寄贈しました。

写真は、ながさきサンセット・オーシャンロードフォトコンテスト2008のグランプリ作品「土谷棚田火祭り」（写真）、第48回大村市美術展覧会の奨励賞作品「染まり行く土谷棚田」、平成21年農業農村工学会表紙写真入選作品「海に浮かぶ鷹島海中ダム」の3点。江口さんは、これらの作品を市のPRなどに役立ててほしいと市に寄贈したものです。

友広市長は「市内の美しい風景の写真を寄贈していただきありがとうございます。本庁や福島、鷹島支所の市民の目の届くところに展示し、市の観光PRに役立てます」と感謝の言葉を伝えました。





きれいな鷹島でお出迎え

鷹島町の町内一斉大清掃（町内一斉大清掃推進団体主催）が4月4日と5日の両日、同町内で開催されました。

鷹島町と唐津市肥前町を結ぶ鷹島肥前大橋の開通を前に、鷹島町を訪れる人たちをおもてなしの心で迎えるために、全町民で町内を一斉に清掃しようと開催されたものです。

清掃には、鷹島地区区長会、鷹島町観光協会、鷹島地区更生保護女性会、松浦市鷹島地区青少年健全育成会など2日間で延べ約1,000人が参加。道路周辺を中心に、除草・伐採作業や、空き缶・ごみ拾いなどを行いました。



志佐川に稚アユを放流

稚アユの放流が4月17日、志佐川で行われました。

志佐川の水産資源の維持と子どもたちの体験学習のため毎年この時期に放流しています。

この日放流した稚アユは、大分県湯布院町から運ばれた体長7センチほどの約5万1千尾で、志佐川漁業協同組合（山口利光組合長）と市職員などが、約1時間半かけて志佐川の4カ所で放流。上志佐郵便局裏の川では、上志佐保育所の4～5歳児の園児14人や上志佐小学校の全学年76人の参加もあり、生き物との触れ合いを楽しみながら稚アユを放流していました。6月1日のアユ漁解禁には、18～20センチに成長する見込みです。

市内各地で春の戦没者慰霊祭

春の戦没者慰霊祭が3月4日から市内各地で行われ、戦没者の霊を慰めました。

12日に行われた星鹿町平和の碑慰霊祭（写真）には、遺族など約90人が参列。星鹿町平和の碑奉賛会の松永操会長が「平和日本の礎となった人々の

大きな犠牲の上に、現在の私たちがいることを忘れません。悲惨な戦争の記憶を風化させることなく、郷土の発展と恒久平和に努力することを誓います」と追悼のことばを述べました。また、参列者は黙とうなど行い、戦没者の霊を慰めました。



消防相互応援協定を結ぶ

唐津市と松浦地区消防組合が3月2日、消防相互応援協定を締結しました。

唐津市肥前町と鷹島を結ぶ鷹島肥前大橋が4月18日に開通することから、協定には、管轄区域が隣接する両消防署が火災や救急業務に関して、相互に応援して出動することなどを規定しています。

松浦地区消防組合管理者の友広市長は4月6日、唐津市役所を訪問し、坂井俊之唐津市長と協定書を交換し、協定の内容を確認しました。

